「施政方針」の提出を求め続けた古賀市（町）議会における議論の経過

２００５年２月２４日

資料提供：古賀市議　ぬま健司

１　古賀町議会・１９９６年３月定例会（会議録ｐ９３～）

ぬま　「当初予算を提案する３月定例議会では、予算編成方針の前提となる施政方針を提出すべきである。姿なき施政方針をあえて問う。」

森藤雄「（１９９５年）１２月議会において今期４年間の町政に取り組みます所信を表明した。町長選挙を通して町民の皆さんにお約束したこと、その所信表明を具体的に施策に移していく裏づけが予算案であり、施政方針でもある。姿なき施政方針との指摘だが、わたしの所信表明に沿った具体的な予算編成である。」

２　古賀町議会・１９９７年３月定例会（会議録ｐ１６２～）

ぬま　「１９９７年度、平成９年度当初予算案の編成説明書は毎年同じパターンの文章であり、改善すべき点がたくさんある。きちんとした施政方針を提案すべきである。」

森藤雄「予算編成説明書は予算編成の方針であり、大綱であり、平成９年度の主な項目、内容について説明するものである。施政方針の形はとっていないが、重要なことは予算の中身だ。施政方針を提示せよとの奴間議員のご意見は十分承知しているが、予算編成は所信表明の中で町民にお約束したことをいかに予算に反映させ、実行に移していくかということであり、重要なことは予算の中身である。」

　「粕屋町、宗像市などを十分検討したうえで、今後の内部での検討事項とすべきであろう。」

３　古賀市議会・１９９８年３月定例会（会議録ｐ１８９～）

　　この議会ではじめて「施政方針および事業概要について」とスタイルが変えられた。

ぬま　「施政方針は議案を上程する冒頭に提案、説明すべきではないか。施政方針は選挙公約との区別も必要ではないか。」

森藤雄「平成１０年度の予算編成に当たりましても、所信表明、選挙公約を以下に実現していくかを述べることが施政方針である。選挙公約とは区別するものではない。もちろんその基本は古賀市第２次総合振興計画に沿ったものでなくてはならない。」

４　古賀市議会・１９９９年３月定例会

　　中村市長初めての３月議会。当初予算案上程時に「予算編成及び事業概要」を説明。生活基盤、グリーンパーク継続、第３次マスタープラン策定。施政方針という文字が消えた。

５　古賀市議会・２０００年３月定例会（会議録ｐ２１６～）

　　この議会でも「予算編成および事業概要について」のみ。「環境と健康づくりに力こぶ」

ぬま　　「３月議会には予算編成と事業概要についてを改め、施政方針を示すことを求めます。」

中村隆象「当選後の初議会とその中間点である２年目の終わったあと、つまり３年目のはじめぐらいの２回に重点を置くのがいいのではないか。本年の施政方針については、昨年の施政方針とほとんど変わりがないので、環境と健康をテーマにあげた。」

ぬま　　「施政方針は自治体の力量を示す作品。国に対する要求、マスタープランとの関係での評価、市民要求との関係。」

中村隆象「改めて施政方針としなかったのは、去年の施政方針をほとんど変わっていないから。新たな要素、観点を大きく取り込む必要はないと判断。」

６　古賀市議会・２００１年３月定例会（会議録ｐ２２７～）

　　３月５日の初日、中村市長は突然施政方針を読み上げた。

ぬま　　「施政方針の自己評価はどうか。毎年３月議会に示すべきではないか。施政方針について調査研究するつもりは。」

中村隆象「就任当初の所信表明を施政の基本とする。今回は市長任期が折り返し点であることからこれまでの２年間の成果と反省を踏まえ、今後の施政方針について口頭で述べた。方針のあり方を見直す必要があれば見直しをはかりたい。」

ぬま　　「施政方針は人づくり、まちづくりのテキストである。」

中村隆象「最初の年と２年目ぐらいに見直しを含めた施政方針、中間の年ではわかりやすい年度目標というやり方がいい。施政方針について庁舎内で合意ができているかという点だが、大衆討議になじむものではないと考えている。」

７　古賀市議会・２００２年３月定例会（会議録ｐ２４９～）

　　３月４日に、中村市長は、従来の考えを改め「施政方針」を発表した。

ぬま　「施政方針が人づくり、まちづくりのテキストたりうるか検証したい。施政方針は予算案と一緒に提出し、事業概要についても、新規事業は何か、レベルアップ事業は何か、最初からきちんと市民、議会に示すべき。」

中村隆象「施政方針と予算の中との分類整理が十分でなかったといわれると確かにそういう気がします。限られた時間の中で、しかも５％シーリングの設け、その達成に労力のかなりを使ったということもあり、その辺が十分でなかったことは反省材料としたい。」

８　古賀市議会・２００３年３月定例会

　　２００２年１２月に「所信表明」のべ、「アートタウン構想」を発表。「なぜアートタウンか」との質問が集中した。それをふまえ３月議会では「施政方針」を述べた。ここでも大きな比重を占めたのは「アートタウン構想」であった。

９　古賀市議会・２００４年３月定例会（会議録ｐ２８４～）

　施政方針で「隣接３町もしくは４町を念頭において、単独もしくは複合的合併について研究していく。政策テーマは共働のまちづくりとする」と述べた。施政方針の配布は、津屋崎町での住民投票の影響などで、議案配布より遅れた。

ぬま　　「昨年の施政方針の評価は。施政方針の進捗状況を６月、９月、１２月の各議会で行政報告してはどうか」

中村隆象「昨年掲げた文化・芸術の振興、交流の促進、行政改革と地方分権の推進、生涯現役社会作りの４点は順調に進捗している。施政方針にも続く事業の執行は、各常任委員会や議会でも説明、報告している。」

ぬま　　「施政方針は、市長地震の時代認識、まちづくりの理念、国の政策のもとでの対応策、予算編成と体系別施策などを述べるべきではないか。」

中村隆象「私の施政方針の書き方は、特徴的なことを、なるべく短い言葉で表現してきた。あれもこれも書くとマスタープランの焼き直しになってしまう。全般的に網羅しなければならないことは予算編成と事業概要でカバーしたい。」

古賀市（町）議会における「施政方針」の提出状況経過

１９９６年３月議会（森町長）　　施政方針無し

１９９７年３月議会（森町長）　　施政方針無し

１９９８年３月議会（森町長）　　施政方針無し

この議会ではじめて「施政方針および事業概要について」とスタイルが変えられた。

１９９９年３月議会（中村市長）　施政方針無し

この議会では「予算編成および事業概要について」に戻った。

２０００年３月議会（中村市長）　施政方針無し

この議会でも「予算編成および事業概要について」。「環境と健康づくりに力こぶ」

２００１年３月議会（中村市長）　口頭で施政方針読み上げる

３月５日の初日、中村市長は突然施政方針を読み上げた。

２００２年３月議会（中村市長）　施政方針・文書

３月４日に、中村市長は、従来の考えを改め「施政方針」を発表した。

２００３年３月議会（中村市長）　施政方針・文書

２００２年１２月に「所信表明」をのべ、「アートタウン構想」を発表。「なぜアートタウンか」との質問が集中した。それをふまえ３月議会では「施政方針」を述べた。ここでも大きな比重を占めたのは「アートタウン構想」であった。

２００４年３月議会（中村市長）　施政方針・文書

施政方針で「隣接３町もしくは４町を念頭において、単独もしくは複合的合併について研究していく。政策テーマは共働のまちづくりとする」と述べた。施政方針の配布は、津屋崎町での住民投票の影響などで、議案配布より遅れた。

２００５年３月議会（中村市長）　施政方針・事前配布できず

２月　１日　小山議長が市長に施政方針の事前配布を要請

２月２１日　市長から事前配布ができない旨の回答

２月２３日　議案書の事前配布（施政方針の文書は無し）

２００６年（中村市長）（１、はじめに２、予算編成方針３、テーマ４、主要施策５、おわりに）

２００７年（中村市長）（１、はじめに２、予算編成方針３、主要施策４、おわりに）

２００８年（中村市長）（１、はじめに２、予算編成方針３、主要施策４、おわりに）

２００９年（中村市長）（１、はじめに２、予算編成方針３、主要施策４、おわりに）

２０１０年（中村市長）（１、はじめに２、予算編成方針３、主要施策４、おわりに）

２０１１年（竹下市長）（１、はじめに２、予算編成方針３、年度に行う主な事業４、おわりに）

２０１２年（竹下市長）（１、はじめに２、予算編成方針３、年度に行う主な事業４、おわりに）

２０１３年（竹下市長）（１、はじめに２、予算編成方針３、年度に行う主な事業４、おわりに）

※２００６年度以降は古賀市ホームページに掲載されている。

※「主要施策」はマスタープランに沿っている。

　２０１３年度は第４次マスタープランに沿っている。